

OralStudio

シュープリムウルトラフロー 臨床評価

Information【臨床評価】

OralStudioとは、日本最大規模の歯科専門家向けポータルサイトで学術、製品、臨床動画、各種セミナー等の情報をWeb上で提供中。同時に、全国の先生方とネットワークを構築し様々な臨床評価を行っています。増刊号ではその一端をご報告いたします。

フィルテックシュープリムウルトラフローの臨床評価を実施



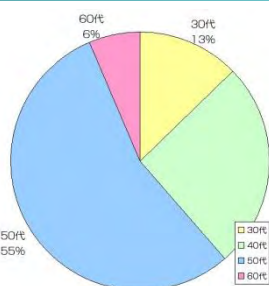
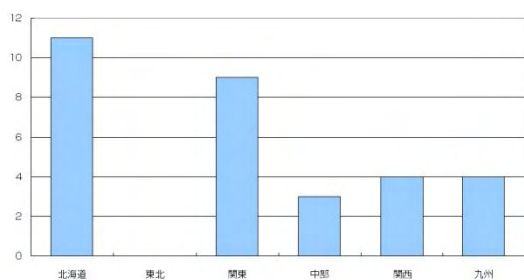
近年、数々のメーカーより様々な特性を持ったフロアブルレジンが発売され、日常臨床において頻繁に使用されています。この度、3Mヘルスケア社より、操作性・審美性・物性が改良された新しいフロアブルレジンが発売されましたので、その臨床的な操作性を評価することを目的として臨床評価を実施しました。

31名の臨床評価Dr.に約1ヶ月臨床使用して頂き評価を行いました(N=31)。

短期評価ゆえ、耐久性や長期予後など不明な点も多いですが、操作性、使用感に関する貴重な評価結果も多数ご提供頂きましたので、皆様の臨床にお役立て頂きたいとここに報告いたします。

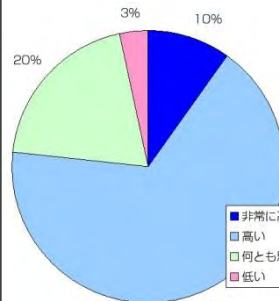
今回で評価くださった先生方と製品イメージ・情報提供

臨床評価Dr.の地域属性と年齢割合について



左に地域属性(Y軸人数)、右に年齢層分布を示します。

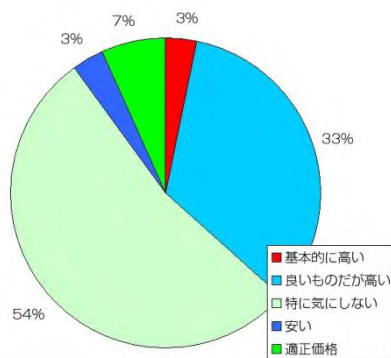
3M社製品への安心感



臨床評価Dr.に対し、3Mヘルスケア社製品の安心感についてヒアリングしました。約8割の方が「非常に

高い」「高い」と回答されました。

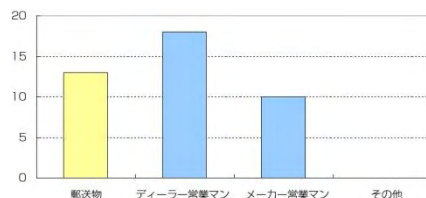
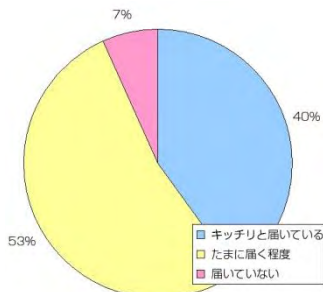
3M社製品のコストイメージ



臨床評価Dr.に対し、3M社製品のコストイメージについてヒアリングしました。半数以上の方が「特に気にしない」と

回答。自費イメージが強い3M社ですが、質とのバランスが取れているのかもしれません。

3M社からの情報は届いている？媒体は？



密度の差はありますが、9割以上の先生方に3M社情報が届いているという結果になりました。

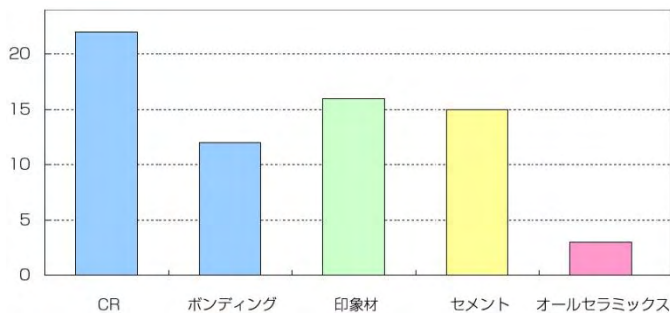
右棒グラフは、情報伝達の媒体を選択して頂いた結果(複数選択可)です。ディーラー営業マンからの情報が最多であり、この伝達経路が情報を得る基本経路となっています。

- 適当な時期に、必要な製品情報が送られてくるので良い。
- 3M社からハガキで製品案内やキャンペーン案内が時々届く
- 開業してからメーカー営業マンが一度も来たことがないのでもっと積極的に営業してみたい。
- 3M社のメールマガジンってあるのでしょうか。
- 当院担当営業マンがおられ、いち早く多くの情報を頂けます。
- 講習会で紹介され、使用しているものもあるが、宣伝等で、GCやモリタの方が情報が多く、3M製品の使用割合は少ない。

- 年に1回くらい、ディーラーの営業マンと一緒にメーカーの営業マンが一緒に来ることもある。
- 新製品に関しては、よく説明して頂いています。
- いつも新製品を直接営業マンが来院して紹介して下さる。
- 詳しく情報提供頂けております。消化しきれないことも。
- 大学勤務時代からのつきあいで、メーカーの営業の方が当院に来てくれています。

ブランディング 臨床評価Dr.から見た3M社とは？

「3M製品」といえば…？



臨床評価Dr.に3M製品としてなじみのあるカテゴリを複数選択して頂きました。化工品と比較してオールセラミックスの認知度が低いのは残念です。

「3Mのイメージ」といえば…？

大手企業
親会社が世界的な大企業
堅い（しっかりした）会社

Cool !
ハイカラ
Big company

色んな意味で海外メーカー
アメリカの会社
外資系の会社
外資系だな
外資

接着セメント
高いけどいい製品
世界的規模の化学会社
高分子化合物の世界企業
レジン製品が質が高いイメージ

信頼性・高性能
信頼性がある
堅実、信頼性が高い

信頼できるメーカー
しっかりとした信頼できる会社
一流メーカーで信頼できる

「3Mのイメージ」さらに語られた先生方も…

セロテープ。
歯科材料よりもポスト・イットとスコッチ・メンディングテープがまず頭に浮かんでしまいます（ゴメンナサイ）。

3M社の製品で長年使用しているのは、印象材のインプリントⅡ、Ⅲで、この商品に関しては他の印象材の追随を許さないほど精度、信頼性を獲得しております。よって、3M社＝インプリントというイメージがあります。また、レジンでは、初めてナノフィラーを用いたコンポジットレジンを開発したことで、時代を見据えた商品開発に力を入れているメーカーとの認識があります。また近年、光学印象が公表されてからは、次世代の印象システムの幕開けといった時代を先取るメーカーとしての期待が寄せられているように思います。

表現できません。すいません。3M本体は直近〇年に開発した商品で売り上げの何割をあげるという目標があるとか、アメリカの会社に珍しく勤続年数の長い社員がおおいとか、そんなほかとは違う特徴があったかと思いますが、歯科部門では特別そういうことはかんじませんね。

3Mについては、ずっと続いている会社なので、父親のようなイメージで特に何かということはない。

歴史ある一流企業ではあるが、歯科関連の製品についてはあまり良い印象がありません。

OralStudio の第三者機関としての 歯科製品臨床評価とは？

OralStudioでは、全国の活性の高い先生方とコラボレーションを行い、製品の臨床評価を行っております。

約1ヶ月間の短期間評価ですが、販売と無関係の【第三者機関】評価は、臨床家にとって価値ある情報です。論文では理解できない臨床的感覚の評価を提供することを目指します。

臨床評価Dr.について（以下の方法より選出）

① 歯科商業誌に症例発表されている先生方に連絡を取り、上記製品評価思想にご賛同くださった方をお願いしています。

② 弊社代表（歯科医師）と個人的に関係のある歯科医師で、客観的な臨床評価をお手伝い頂ける方をお願いしています。



臨床評価の流れ

評価の流れを示します。対象製品の決定から評価項目の設定、結果集計・公表までOralStudioが行います。

基本的に1回当たりの評価人数は30名で、具体的な使用感に関するコメントも多数あります。実際の評価結果例を当レポートに掲載しております。



可能な限りバイアスを排除した製品情報を
医療人のあいだで共有することを目指して

★ OralStudioは 製品販売と無関係な第三者機関【北大発ベンチャー】です

os_contact@oralstudio.net

発行：株式会社デンタルアロー

OralStudio Monthly Report

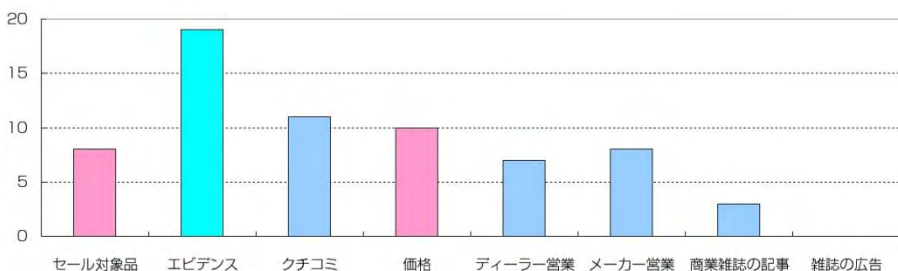
札幌市東区北21条東20丁目2-21

TEL：011-600-3882 FAX：011-787-0034

全ては患者さんのために
最善を尽くす
歯科医療を

フロアブルレジンに関する各種意見

フロアブルレジンの購入基準は？【複数回答】



フロアブルレジンの購入基準についてあてはまる項目を選択してもらいました。エビデンスが重視される一方で、商業雑誌記事や広告はほとんど購入基準に繋がらないという結果になりました。また価格競争力もさることながらクチコミが購入基準において重要であると再認識できました。

フロアブルレジンによる“今までの苦い経験”を教えてください【自由回答】

【フローと気泡】

- ・流れが良いことを過信し気泡を入れてしまったこと
- ・気泡が入る、ただそれだけが大変気になる
- ・フローが良すぎるがために、2級充填の時にサルカス内にレジンが流れ込んでしまったこと
- ・だらだら流れる
- ・流れ過ぎて、マージンに流れこんだこと
- ・最近出てきた流動性の低いタイプのもので、大臼歯咬合面をつくってみたのですが、気泡というか隙間が出来てしまい、削り取るはめに。やはり、使い慣れたペーストの方が断然扱いやすい。トレーニングが必要ですね。
- ・フローが強すぎるので、他の部位についたり、必要以上に量がおおくなる。
- ・流れてしまってポケットに侵入…
- ・メーカーは忘れたが垂れて困った。
- ・填入時にプランジャーの押し方の加減でいっきに窩洞から溢れてしまったこと

【X線造影性】

フロアブルはライニングに使うことが多いのですが、X線造影性が無い製品には困りました。X線写真上で黒く抜けて見えますから。

【審美性】

- ・なんにでも簡単に使用できるという話で初期のころ多用したが、すぐに劣化する、色素がはいりやすい、来院のたびにやり変えないといけない状態になる。患者の信頼を失いかけたのでコンポジットレジンにもどし安定した。
- ・前歯の隣接面窩洞で、審美的に満足できなかったこと
- ・充填したが、色が合わなかった
- ・思った以上に、充填した時の色が明るい
- ・苦い思い出というより、メーカーによって操作性、シェードなどかなり違いがあるので特性を生かして使用するまでに時間がかかる。

【フローと治療】

私が今まで主張してきましたことは、やはりフロアブルレジンの硬さには、2通り要るのではないかと思います。ローフロータイプとハイフロータイプです。つまり、フロアブルレジンの適用を考えると、内側窩洞（主に覆髄）と外側窩洞（主に修復充填）に大別され、やはりそれらには異なるフローが必要だと思います。しかし、そのフロー程度の差が微妙です。

例えば、裏層に使う場合では、あまりフローが良すぎるとレジンが遠心方向に流れていくといった経験や、V級窩洞では歯肉溝内に流れていくといった苦い経験があります。また、フローが悪いと逆に裏層の際に窩底に均一に流れない、気泡が入りやすいといったことも経験しました。”

特に高気温下での充填において、予想外のフローになることがあり、充填前の手間をかけた準備が無駄になることがありました。窩洞の方向によっては患者の顎位の調整も必須になります。近来のレジンに関しては皆同じですが、窩洞形成を適当にすると、境界がわかりづらくて、研磨、擦り合わせに、苦勞することがあります。

【重合不全】

臼歯隣接面に使用して、金属マトリクスをはずした時に、重合不十分で、一緒に外れたことがある。それ以外は、使いやすい材料で、臨床でも多用している。

【シリンジの問題】

ノズル口径より小さな窩洞での充填でうまく充填できなかったこと

【フローと特性】

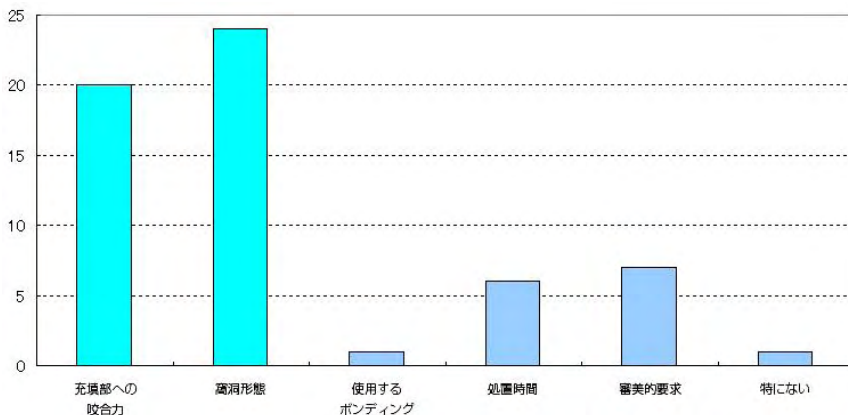
流れが良いものは耐磨耗性が低い。流れが悪いものでは 気泡が窩洞に残る。

【ディーラー対応】

大量買いしたら、ディーラーが他社製品の新製品をもっと安くもってきた。

臨床評価Dr.の日々の臨床において

フロアブルレジンとコンポジットレジンの使分け基準は？【複数回答】



フロアブルレジンとコンポジットレジンの使用基準について、ヒアリングを行いました。予想通り「充填部への咬合力」と「窩洞形態」により使い分けられている現状が明らかになりました。近年のフロアブルレジン、物性・審美性共にかなり向上していると報告されていますが、臨床家の間ではやはりコンポジットレジンに対する信頼度が高いと言えます。フロアブルレジンにおいて、本当にこの部分が解決できれば大きな競争力になると予想されます。

【先生方の臨床基準】

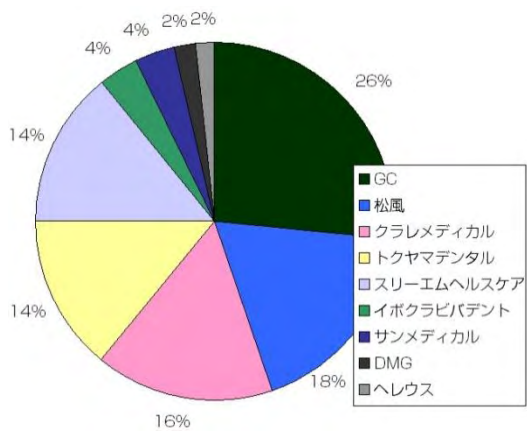
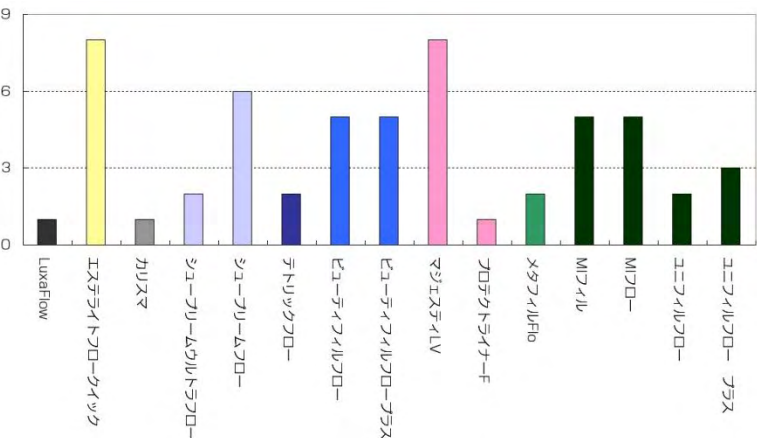
- ・ 固める前にある程度形態付与したいときにコンポジットレジンを使いますが、そうでないときは現在はほとんどすべてフロアブルレジンを使用しています。積層充填して咬合力がかかりそうなところは種類を変えたりはします。
- ・ 選択基準は以下の通り。
基本的には、フローの良いもので裏層を。
咬合力のかかるところには、フローが多少悪くても硬いものを。
小児のような、短時間で治療を終えなくてはならないときは、硬化時間の短いものを。
- ・ コンポジットレジン充填では、ペーストタイプのコンポジットレジンのみで充填することはありません。ほぼ100%ライニングのためにフロアブルを使います。フロアブル単体での修復は、浅くて小さい窩洞です。
- ・ やはり通常のコンポジットレジンと比較すると機械的強度が弱いと思われるので、窩洞表面に用いることはしていません。もちろん、咬合力がダイレクトにかかる箇所には用いていません。一方、トンネル窩洞やスロット窩洞には、優先的にフロアブルレジンを使用しています。咬合力のかからないフィッシャーカリエス修復は、最大の適応症と考えています。
- ・ 咬合力の加わるところは、ペーストレジンを中心に使用しています。近年は、フローレジンの機械的強度が高くなっているとのことで、使用量としては、5割ぐらいに高まっていると思います。
- ・ 基本的にフロアブルレジンを使用するのは、ライニング的に形成した面をシールすることを目的にしています。また、形態の付与がシビアでない場合（下顎前歯の咬耗部、小さい楔状欠損など）には単独で使います。”
- ・ 歯種、部位、カリエスの深さ、ハイジーンコントロールによって、以下の基準で使い分けております。
 - ①透過性
 - ②研磨性
 - ③フッ素徐放性
 - ①：極めて感覚的な判断ですが、透過した方が良さそうかどうかで使い分けます。
 - ②：研磨難しそうな場所だなという場合かそうでない場合か？
 - ③：ジャイオマーをどれだけ信頼するかにもよりますよ。ただ、歯髄に近い場合やハイジーンコントロールが難しい場合は、この基準の優先順位を上げます。

【充填のスタンス】

- ・ 現在はまだ、コンポジット主体で、症例によってフロアブルを使うというスタンスです。
- ・ なるべくフロアブルのみでやりたい。
- ・ 使いやすい材料を使うように心がける
- ・ いくら物性が上がったといわれても、なかなかコンポジットにとっては変わらない。
- ・ 現在はフロアブルレジンで全てOK。
- ・ 現在全ての症例をフロアブルレジンで充填しています。
- ・ フローは裏層に使用。
- ・ 隣接面の形態回復はフローレジンで行う

現在使用しているフロアブルは？ 比べてどう？

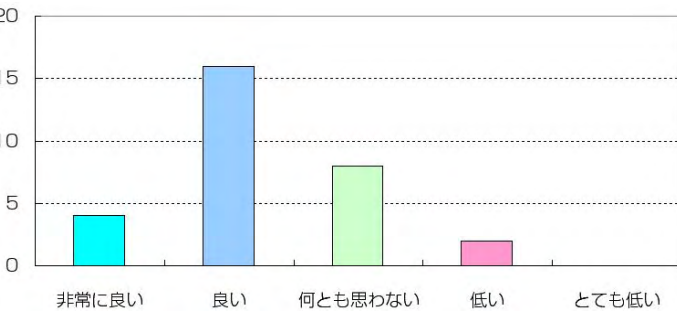
臨床評価Dr.が使用しているフロアブルとそのメーカー比率 【Y軸：人数（複数回答）】



現在臨床評価Dr.が日常使用しているフロアブルレジンの製品名を伺いました。ほとんどのDr.がメーカー横断的に2種類以上の製品を使用。興味深い特徴としては松風製品を使用されているDr.は、松風製品のみを使用しているケースが多いことです。これは「ジャイオマーのポテンシャル」と「特徴的な操作性」に起因するものだと考えられます。

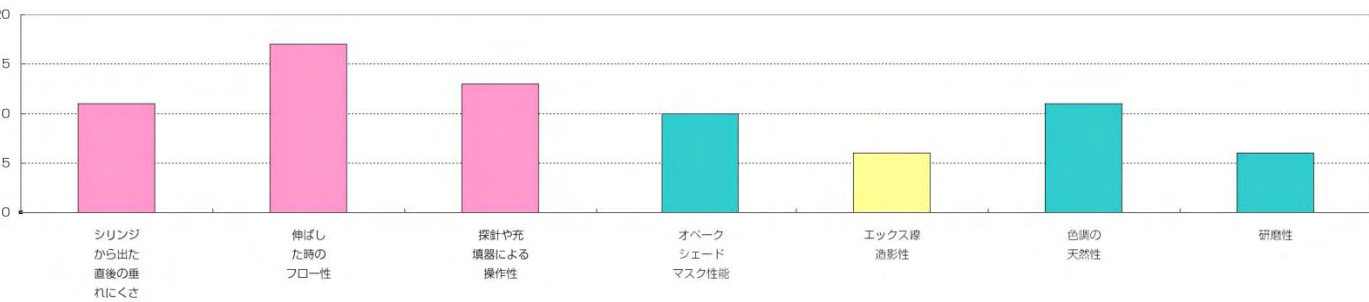
次に左上グラフで示した製品のメーカー比率を示します。最大シェアはGC社でしたが、特定の製品に競争力があるわけではなく、製品数（種類が多い）によりシェアが大きく見えていると考えられます。松風・クラレメディカル・トクヤマデンタル・3Mはほぼ同割合でした。

シュークリームウルトラフローと日常使用フロアブルの比較 【Y軸：人数（単一回答）】



1ヶ月シュークリームウルトラを使用して頂き、普段使用しているフロアブルレジンと5段階比較を行いました。
約65%のDr.が「現在使用しているフロアブルより使用感が良い」と回答されました。各Dr.からのコメントは後に記載します。

シュークリームウルトラフローの競争力 【Y軸：人数（複数回答）】



シュークリームウルトラフローの特徴的な製品性能の中で、臨床評価Dr.の視点から「臨床的にこれは優れている！」と感じる項目を選択して頂きました。

棒グラフの朱色は「操作性に関係ある性能」を、緑色は「審美性に関係ある性能」を、そして黄色は「審査診断に関係ある性能」を示します。

「伸ばした時のフロー性」は半数以上の方に支持されておりますが、現在日常的に使用しているフロアブルの種類により総合的な操作性評価にはかなりばらつきが認められます（「操作性はかなり良い」から「差がわからない」まで様々な意見）。一方で、シュークリームウルトラフローの「研磨性・X線造影性」については、評価数は少ないものの、コメントから鑑みると価値の高い競争力であると言えます。

シュープリームウルトラフローと日常使用フロアブルの比較コメント

【製品名】は、回答されているDr.が日常的に使用しているフロアブルレジン製品名です。

■「非常に良い」と評価したDr.のコメント

- ・とどまり具合が良い【マジェスティLV、ビューティフィルフロー】
- ・素晴らしい操作性【MIフロー】
- ・光の透過性がほどほどで色がよく流れも適切【エステライトフロークイック、テトリックフロー、シュープリームフロー】

■「良い」と評価したDr.のコメント

・対象製品は流れが少し良すぎて歯頸部付近の充填の際、マージン付近で留まってほしいのに歯肉までかかってしまうことがあった。色調に関しては現在使用しているものよりもよいと思います。現在よく使用しているのはサンメディカル社 MetafilFloです。流れが良く留まってほしいところで止まってくれます。【メタフィルフロー、GC社各製品】

・適度なフローと硬化後の硬さを兼ね備えていると感じた。【シュープリームウルトラフロー、MIフロー、エステライトクイックフロー】

- ・松風といい勝負【ビューティフィルフロー】
- ・ウルトラフローは、研磨性もよく、X線造影性もほどほどにあり、ミドルフローで、大きな欠点の無い製品です。数あるフロアブルの中で、迷ったら選択して間違いの無い製品です。【マジェスティLV、ビューティフィルフローF00】
- ・カメレオン効果をあえて抑えてある所が好きです。マスキングに使います。【ユニフィルフロー、シュープリームフロー】
- ・色調は自然な感じがします。フローは温度に左右される感じがします。【マジェスティLV】

・一番使用率の高いのが、マジェスティです。流れが良いのが気に入っています。色は今ひとつと思っています。MI FILは流れが悪いが、盛り上げやすい利点があり、使用頻度は高くはないですが使用しています。エステライトは、やや深い窩洞に使用しています（コアなど、硬化が良いということなので（本当かどうかは知りません））。フィルティックは、流れが良く、盛り上げもできるので応用範囲が広いと思います。【マジェスティLV、エステライトフロークイック、MIフィル】

- ・操作性がとても良い。【MIフロー、ユニフィルフロープラス】
- ・上顎3歯頸部の小さなWSDに使用し、操作性、審美性OKだった。【エステライトフロークイック、プロテクトライナー】

・フロアブルレジン単独で使用した際の研磨性が良好である。操作性（チクトロピー）は特別違いを感じない（良い悪いを判断できるほど違いがない）。【MIフィル、Nフロー、シュープリームフロー】

■「なんとも思わない」と評価したDr.のコメント

・今まで多くの種類のフロアブルレジンを使用してきましたが、他の製品と比べて特別に秀でていることはないように思います。【エステライトフロークイック、GC各製品】

- ・販売に来るメーカーさんの説明が詳しいと買いたくなってしまう。【GC各製品】

・松風のフロープラスF00は形態付与が出来るが、今回のウルトラはそれが出来ないのも、僕の臨床には合いません。【ビューティフィルフロー、ビューティフィルフロープラス】

・特に3Mが優れていると思われる点がすぐにわかったということはありません。特性（特に、色、透明感、流れやすさ）を理解して使い分ければよいのだと思います。【マジェスティLV、エステライトフロークイック、GC製品】

・今使用しているものと比較してフローが強い感じがします（室温変化によるせいかフローが一定しない感じ）。なので慣れるのに少し時間がかかりそうです。【MIフィル】

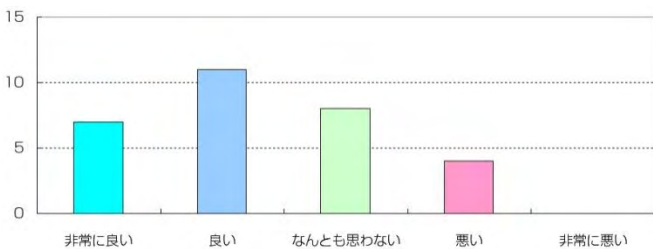
・研磨性は、エステライトとさほど変わらない感じもしました。ビューティフィルフローよりは良いです。シェードの豊富さですが、あまり多種をそろえても使い切れないような気がして・・・実際はあまり意味が無いかもしれません。操作性は、特に他の物と変わる気がしません。【ビューティフィルフロー、エステライトフロークイック】

■「低い」と評価したDr.のコメント

自分にとっての使いやすさを一番の選択基準にしているので、現在使用中のビューティフィルフローに使いやすさの点で及ばないです。具体的には、チキソトロピーが高く流れが低い、始めから気泡が入っている（これは致命的、A2とA3を全部使い切りましたが、併せて5、6症例で気泡が入りました。）研磨する時の硬さがあって研磨しにくい。【ビューティフィルフロー】

シュープリームウルトラフローの臨床評価

「垂れにくさ」について 【Y軸：人数（単一回答）】



シュープリームウルトラフローの「垂れにくさ」について評価頂きました。

約60%近くの臨床評価Dr.が「非常に良い」「良い」と評価している反面、10%以上のDr.が「悪い」と回答しています。チクソトロピー性の温度依存度が高いように感じますが、好みが最大の評価基準となっています。

■「非常に良い」と回答したDr.のコメント

マージン部分等で、流れると窩洞外に出てしまうところを充填するのがやりやすい。
思い通りの操作性。

■「良い」と回答したDr.のコメント

特に、他社商品との優位性は感じませんでした。
一度使用した後に少しレジンがシリンジ先端より垂れる製品がありますが、本製品ではそれは起こらないと思います。

■「なんとなく思わない」と回答したDr.のコメント

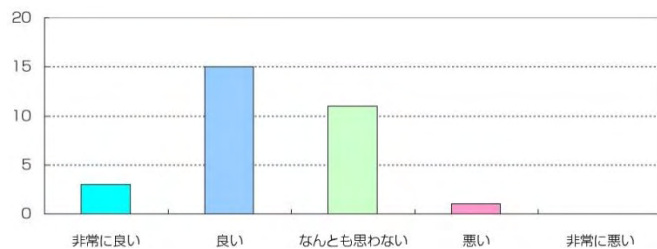
ミドルフローとしての垂れにくさと思います。
もう少し垂れやすくても良いと感じております。
現在使用しているビューティフィルフローに比べたれにくいので、逆に主観では使いにくく感じました。
もう少し垂れにくいほうが汎用的には使いやすいと感じます。

『流動性の高さに比べて垂れにくい』という点が重要な窩洞は個人的にはあまり無いと考えております。

■「悪い」と回答したDr.のコメント

製造意図を考えれば仕方ないのですが、条件によっては先述のとおりフローがよすぎて苦労します。金属製のシリンジの先端に残るペーストの粘調度からみても、もうほんのわずか、フローを落としたほうがベターかな、という感じがします。
上述しましたが、温度によってかなり「垂れにくさ」は異なると思います。
「垂れにくい」というより「垂れやすい」という印象があります。使用した直後シリンジに残った応力でレジンが出ていることがたびたびあった。

「伸ばしやすさ」について 【Y軸：人数（単一回答）】



シュープリームウルトラフローの「伸ばしやすさ」について評価頂きました。

約60%の臨床評価Dr.が「非常に良い」「良い」と評価しています。前述の【競争力】でも評価が高かったこの性質は、多くの先生方に受け入れられたようです。

■「非常に良い」と回答したDr.のコメント

良く伸びる、気泡を巻き込まない！

■「良い」と回答したDr.のコメント

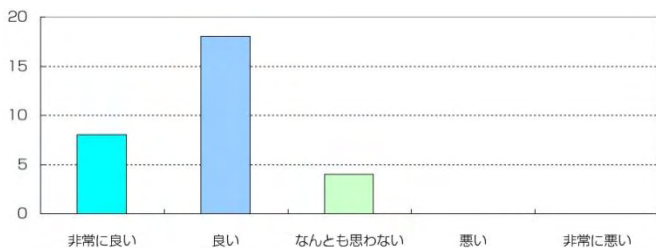
特に、他社商品との優位性は感じませんでした。
伸び過ぎ、流れ過ぎで、わずかに使いにくさを感じています。圧接、という感覚の操作はできないに等しいですね。まさにフロアブル。
チクソトロピーで、振動を与えるとフローが出るので、賦形しやすい。

■「なんとなく思わない」と回答したDr.のコメント

ハイフローでは扱いにくさを感じますが、ウルトラフローはミドルフローですから、他社製品のミドルフローとの間に大きな差は感じません。
特に他社製品と違う特性を持つものではないと感じます。
伸ばしやすいということを期待する場合は、今まで流動性の高いフローを選択しておりました。あまりなんとも感じませんでした。

シュープリームウルトラフローの臨床評価

「治療の仕上がり」について【Y軸：人数（単一回答）】



シュープリームウルトラフローの「修復治療の仕上がり」について評価頂きました。

約84%の臨床評価Dr.が「非常に良い」「良い」と評価しています。これは特筆すべき点です。ナノフィラーの特徴が臨床的に一番見えやすい（理解しやすい）部分かもしれません。

■「非常に良い」と回答したDr.のコメント

色調が大変よい。
研磨後の『艶』は出やすいと感じました。
研磨が楽

■「良い」と回答したDr.のコメント

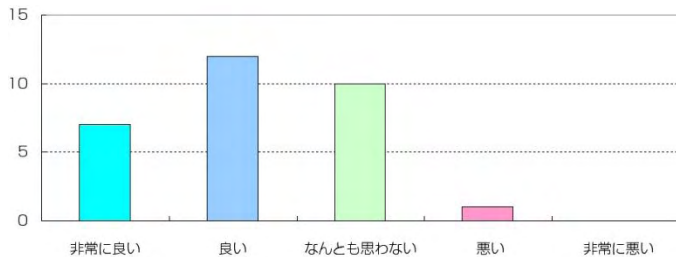
仕上げ研磨した後の充填物は、研磨性は良いことと色調にクセがなく、きれいに仕上がります。研磨面の気泡も少ないと感じます。
自分の手技の問題になりますが、たいへん良い結果を得られる感触があり、現在、凝りまくっていますが、どんな製品でも極めるまでは苦労します。極めてしまえば、逆に他の製品は使いづらくなるのが、悩ましいところ。
フィルテックでないと駄目なケースがあります。
治療効率が良い。
研磨性もほどほどでよい。

■「なんとなく思わない」と回答したDr.のコメント

日本人の歯には少しマッチしにくく感じました（今回の限定されたシェードの上での話ですが）。色調が他社と比べて透明感が強いと感じていますので、そういう症例に使おうと思います。

総合評価について

【Y軸：人数（単一回答）】



シュープリームウルトラフローの「総合評価」について評価頂きました。

約61%の臨床評価Dr.が「非常に良い」「良い」と評価しています。前述の設問からも明らかなように、フロアブルレジンの評価は、「現在どの種類のフロアブルレジンを使用しているか」によって、大きく分かれるところです。そのような中、61%の臨床評価Dr.から高い評価を受けたということは、安定した製品であることを物語っていると感じます。

■「非常に良い」と回答したDr.のコメント

- ・操作性、審美性ともに良好で非常に良く、垂れにくさと研磨性の良さが、他社製品より優れていると感じる。
- ・操作性がとても良いので気に入っています。これ1種類で、いろいろな窩洞形態に対応できそうです。
- ・非常に使いやすいので今後も使わせていただきたい。ただしコスト面の影響は多少はあるかもしれません。
- ・いくつかのフロー製品をつかっているが、現在ではシュープリームが第一選択になりつつある。

■「良い」と回答したDr.のコメント

・オペク色と併用した場合の色調、通常のビタシェード色単味での色調とも良く、カラーバリエーションに富んでいるのも難しい歯牙の修復に対して有効かと思います。操作性に関しても他社と比べて極端に劣る点は見当たらないように感じました。これを期にいくつかの色に関しては継続して使用することにいたしました。

・フローの程度から考えて、裏層などの窩洞最深部に使用するのではなく、充填物の表層に位置させるべき商品であると感じました。審美性は素晴らしいですので、小さめの3級窩洞のに使用しやすいと感じました。

・パンフレットに書いてあった「ピタッと留まる」感じはあまり感じられませんでした。使用後もシリンジの先からレジンが溢出する感じがします。色調は問題ないので、ちょう度の問題をクリアできればよりよい製品になると思います。青色LEDの口腔内カメラ（モリタ）で撮影したとき、クラレ社製は充填物が白色に浮き上がって見えるが、3M社製は白色の程度が少し弱い感があります。

・操作性については、とてもいいので導入します。他のレジンとの使い分けや色については、かなり使い込まないと何とも言えません。操作性が良いだけで買いたと思います。

・エステライトとの比較になりますが、あまり変わらない気がします。ただ、エステライトに比べると透過性が低いので『研磨性を求めて、透過性が低いもの』を選択したい時に、使用するということになると思います。

・流動性については、個人個人違うと思うのでそれほど気にはとめない。しかし毎回行う作業の一つなのでわたし個人としては大切な項目。

■「なんとなく思わない」と回答したDr.のコメント

・ウルトラフローは、研磨性もよく、X線造影性もほどほどにあり、ミドルフローで、大きな欠点の無い製品です。数あるフロアブルの中で、迷ったら選択して間違いの無い製品です。

・マイクロスコープで充填したところを観察すると少なからず小さな気泡が混入しているケースが見受けられました（製品の当たり外れ？）。フロアブルレジンでは、やはり同じ種類のコンポジットレジンを使うことでパッケージとして機能すると思います。他社のコンポジットレジン（当医院では、マジエスティーを使っています）とでは、若干シェードの違いがあるように思いましたので、審美的な修復には少し問題がありました。今後、長期的な変色や摩耗などの追跡をしていきますので、そのあたりで他社との比較ができるかもしれません。

・フロアブルレジンとは過去に痛い目にあったので不信感がある。現在ではコンポジットレジンの補助（かどう形態修正とかマスキング）としてしか使用しない。

・充填時に気泡が入りにくいように思われる。研磨もしやすいように思う。

・フロープラスのF00のようなタイプが発売されたら、導入を考えます。

・A2、A3はともかくO A3がデンチン色だったりするのでほかの会社のO A3とは違っていました。

・昔に比べ、多くの日本製品の出来がいいため、3Mでなければならぬ理由が見つからなかった。今回の色調では、高齢者層には非常に厳しい。A2に関してはいいと思うのですが、上に行くほど他のメーカーとの色の差が出るように感じます。

以上簡単ではございますが、臨床評価結果を
ご報告させていただきます。

os_contact@oralstudio.net